



**明けましておめでとうございます。**

新しい年を迎えて、21世紀も10分の1が過ぎ去りました。21世紀のキーワードは、「人権・環境・平和」ですが、人権については、同和問題をはじめ女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権、障害者の人権、在日外国人の人権など数々の人権問題が山積しています。環境についても12月に地球温暖化防止のためのCOP15がデンマークのコペンハーゲンで開催されました。今年の秋には名古屋で生物多様性条約締約国会議COP10が開かれます。開発の名の下に著しい地球破壊を続けてきた人類がその愚かさ気づいて、いかなる持続可能な社会システムが構築できるかが問われています。平和についても、核兵器の廃絶はままならず地域紛争も絶えません。宇宙船地球号の平和と安全を保つために、一層の努力を重ねる必要があります。2007年5月14日に成立(5月18日に公布)した憲法改正国民投票法が愈々今年の5月18日に施行されます。国民一人ひとりが、憲法改正の是非にその意思を明確にしなければならない時が遠からずやってくると思います。主権者の国民として日本国憲法に強い関心を持つとともに学習活動に取り組んでその日に備えようではありませんか。

紙上談話(第二回委員研修会要旨)  
**私にはいのちがふたつある**

講師 唯福寺住職 田嶋 尚 哉 師

只今ご紹介いただきました私は、真宗大谷派の僧侶です。仏教は、インドから中国・朝鮮を経てわが国に傳來されました結果、日本では今日仏教徒が多くおられます。しかし、重篤入院患者のお見舞いに牧師がゆく場合は、嫌われないのに、僧侶が法衣で見舞いに行くこと拒否されることが多くあります。それは「死」と仏教が重なり、私の上に「死」はあつてはならぬ事だからです。「死」もまた私の身上におこる出来事とは思いたくないからです。

◎日常語には、仏教語が多い  
インドの仏教梵語は、中

国語に翻訳され、その仏教語が日本に入りました。それ故、日本語の中には仏教用語が多く見受けられます。「旦那」という言葉は、ダーナという梵語の音写で、意味は「施し」です。この施しには三種類あつて、「法施」「財施」「無畏施」を言います。「法施」は教えを施すこと。「財施」は財物を施すこと。「無畏施」は、人の恐れや困惑を取り除く施しです。施しをしない御主人は「旦那」ではありません。「奈落」は、梵語ナラカの音写。地獄を意味します。「摩訶不思議」の摩訶は、梵語マハーの音写で「大

きい」意味です。このように日本語となった仏教語は、本来の意味と、大差なく使用されていることですが、時には仏教語と全く異なった意味として日常語が使われていることもありま。例えば「往生」という言葉です。本来は、仏の教えを聞いて、如何なることが私の身上におころうとも、よし、生きて行くぞという心がおこつてくること(おこすのではない)を意味しますが、日常語としては、「困った」ときなどに「往生した」と使います。

◎人間は苦悩する在り方をしている

医師が患者を診るとき、若い医師は科学的思考で人間をホモサピエンスとして見てしまいがちで、がんの宣告をいとも

簡単にしています。熟練した医師は、患者を「苦悩する人間」として捉え、同じがん宣告でも患者に負担をかけないよう工夫して対応しています。仏教では「苦」を身におこる「苦痛」と、心におこる「苦悩」との二種、心身の苦を言います。代表として四苦があります。生・老・病・死を指しますが、仏陀はこれらを解決できないこととして教えています。特に「死」もまた私の身上におこる出来事として捉えています。

◎われらは煩惱具足の凡夫なり

我々は、倫理・道徳を身に備え、差別は善くないことだと知っております。もちろん犯罪は許されぬことです。しかし、そうなるべき環境や条件を整えれば、嘘をつき、殺人さえしてしまうのが人間です。断悪修善

## お知らせ

四日市、桑名、鈴鹿で第61回全国人権・同和教育研究大会が開催されました

大会は、昨年11月28日(土)と29日(日)の両日、四日市市、桑名市及び鈴鹿市の北勢地区において、人権・同和教育に取り組む全国各地の教員や自治体関係者ら約1万3千人が集まり、開催されました。メイン会場となった四日市ドームには、約8,000人が入場し、来賓の鈴木寛文部科学副大臣らが祝辞を述べ人権教育の充実を訴えました。



田中俊行市長は、「深刻な健康被害を引き起こした四日市公害は深刻な人権侵害を抱えていた。市民、企業、行政が協力して公害の克服に取り組んできた。その結果今日のようなすっきりとした環境を取り戻すことができた。環境改善の歩みについては、市立博物館で展示会をしているので見て帰ってほしい」と紹介されました。

午後は、ドームでの特別報告と分科会会場に分散して課題別の討議に入りました。二日目は、前日に引き続き、課題別に9分科会が開かれ、人権・同和教育活動について、実践報告をもとに報告者と参加者との討論が行われました。また、同時開催として市民向けイベント「みえ人権フォーラム」が四日市文化会館で開かれ大変な賑わいでした。



<写真は、まっしゅんブログより借用>

### ☆ お知らせ ☆

2009年度最後の事業となる第3回委員研修会は、3月1日(月)19時から、海蔵地区市民センターで開催しますので、委員の皆様のご出席をお願いします。 事業部

私の視点、私の感覚、私の言葉で参加します。

「お断り」…「シリーズで学ぶ裁判員制度」は、休みました…

といつて悪いことを止めて、善行をすることを可能だと思っ  
ていることです。所が、人間は  
欲が深く、怒り、腹立ち、そね  
み、ねたむ心が多くあって、臨  
終の時を迎えるまでこれらの  
心は消えません。この様な在り  
方をしている人間を「凡夫」と  
いいます。自分自身を凡夫とし  
て自覚しない人は、常に善行を  
積み、悪行をしないことが出来  
ると思っっているのです。

明治維新の政府は、富国強兵  
の国策として北海道の先住民  
たるアイヌ民族を土人扱いし  
ました。そして北海道開拓とい  
う名のもとに侵略政策を進め  
て彼らの文化を破壊しました。  
余り知られていませんが、政府  
は一部の協力者をしてアイヌ  
人をとてもひどい目に遭わせ  
たことでした。穴居暮らしをし  
ていたアイヌの人々に文明化

と称して高床式の住宅を建設  
し移住を奨励しましたが、厳寒  
の地、特に千島列島では、多数  
の凍死者を出しました。政府は  
文化住宅が善いことだと判断  
したのですが、原住民には最悪  
となりました。善行などと程遠  
いことです。

一部の宗教者も、被差別民  
を、差別法名、差別戒名、経典  
の間違った解釈、説教や講話な  
どで差別してきました。そし  
て、このような宗教者の差別体  
質を運動団体から糾弾され、仏  
法の本質と解放理論が同質で  
あることに気付かされました。  
凡夫の自覚が欠如した例であ  
ります。

### ◎私にはいのちがふたつある

仏教語で「寿命」という言葉  
があります。「いのち」という  
意味であって、「運命」とは全

く違った意味です。「運命」と  
いう意味で寿命という言葉を使  
用することがありますが、同義語で  
はありません。「命」はインド  
語で「ジビタ」といい、私の  
生まれてから死ぬまでの「いの  
ち」の長さを言います。これに  
対して「寿」は「アーユス」と  
いい、今いきている私の「いの  
ち」の質を言います。「命」を  
「どれだけのいのち」と捉える  
ならば、「寿」は、「どんないの  
ち」をいきているのか、といえ  
るでしょう。すべての人間の  
人権を平等に保障し、人間とし  
ての尊厳を認め合うことを信条  
として生きるのか、競争社会で  
負けないために「差別」を是認  
し、人権侵害を簡単に行うよう  
な生き方しているのか問わ  
れていることです。

自己自身が凡夫であるとの  
認識を持たぬ人は、人権問題に

鈍感であったり、無関心であり  
ます。「恍惚」という仏教語が  
あります。作家が「恍惚のひと  
」という言葉使いをしたもので  
すから、高齢者の認知症を指す  
ようなことになりましたが、本  
来は「ぼんやりした状態・状況」  
の意味です。生活でいえば、と  
りともない一日であったと  
の生活。今日一日何事もなく平  
穩無事に過ごせたというよう  
な生活を意味します。しかし、  
このような生活をしてい  
ますと、無意識に差別を肯定  
し助長させてしまいます。「い  
のち」の長さばかりに目をむけ  
ていまずと、「いのち」の質を  
忘れてしまい、人権に対する思  
いも無関心となることです。

(文責・広報部)